

令和3年12月定例教育委員会資料

令和3年12月20日(月曜日)

奄美市教育委員会

令和3年 12月定例教育委員会

開会の日時：令和3年12月20日(月曜日) 午前10時00分～10時40分

会議の場所：本庁舎6階中会議室

出席した委員及び事務局職員等の氏名

教 育 長	村 田 達 治	教 育 部 長	徳 永 恵 三
		教 育 総 務 課 長	重 信 竜 昇
教育長職務代理	恵 上 イサ子	学 校 教 育 課 長	末 吉 正 承
		生 涯 学 習 課 長	大 庭 勝 利
委 員	元 井 孝 信	文 化 財 課 長	伊 集 院 正
		ス ポ ー ツ 推 進 課 長	田 中 巖
委 員	西 正 和	学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	井 上 裕 之
		住 用 地 域 教 育 課 長	宅 間 道 和
		笠 利 地 域 教 育 課 長	丸 田 宗 八 郎
		企 画 総 務 係 長	久 保 田 貴 美 人

会議の順序

1 開 会

2 議 事

- (1) 「11月定例教育委員会議事録の承認」について
- (2) 委員，教育長等の業務報告について
- (3) 議案第19号 奄美市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する訓令の制定について
議案第20号 奄美市ふるさと創生人材育成基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
報告第15号 奄美市名瀬運動公園，奄美市名瀬総合体育館及び奄美市名瀬古見方多目的広場の指定管理者の指定について
報告第16号 太陽が丘総合運動公園，奄美市笠利B & G海洋センター及び奄美市笠利農村環境改善センターの指定管理者の指定について
報告第17号 奄美市教育，文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

3 その他

議案第19号

奄美市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する訓令の制定について

奄美市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する訓令を次のように制定したいので、奄美市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18年奄美市教育委員会規則第1号）第10条の規定により議決を求める。

令和3年12月20日提出

奄美市教育委員会教育長 村田 達治

奄美市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する訓令

奄美市教育委員会教育長事務委任規程（平成18年奄美市教育委員会教育長訓令第1号）の一部を次のように改正する。

第2条中「親族の認定」の次に「及び受給権の調査」を加え、「又は額の決定及び改定」を「の決定、額の改定及び要件具備等の随時の確認」に改める。

附 則

この訓令は、令和〇年〇月〇日から施行する。

議案第20号

奄美市ふるさと創生人材育成基金条例施行規則の一部を改正する規則の
制定について

奄美市ふるさと創生人材育成基金条例施行規則の一部を改正する規則を次の
ように制定したいので、奄美市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18
年教育委員会規則第1号）第10条の規定により議決を求める。

令和3年12月20日提出

奄美市教育委員会教育長 村田 達治

奄美市ふるさと創生人材育成基金条例施行規則の一部を改正する規則

奄美市ふるさと創生人材育成基金条例施行規則（平成18年奄美市規則第45号）
の一部を次のように改正する。

第2条の見出しを「（申請の手続）」に改め、同条第1項第3号を次のよう
に改める。

（3） 同一世帯の所得・課税証明書

第2条第1項第5号中「市長の発行する」を「同一世帯員の」に改める。

第19条中「市長が」の次に「別に」を加え、同条を第23条とし、第18条を第
22条とし、第17条の次に次の1条を加える。

（返還免除）

第21条 市長は、奨学生又は奨学生であった者が奨学資金返還完了前に死亡し
たとき、若しくは心身に著しい障害のある状態となったとき、又はその他の

特別な理由があると認めるときは、奨学資金の全額又は一部の返還を免除することができる。

- 2 前項に規定する免除を受けようとするときは、本人、遺族、又は連帯保証人は、各人の家庭状況書（別記第12号様式）及び資産・無資産証明書、所得・課税証明書及び納税証明書を添え、速やかに奨学生資金返還免除願（別記第13号様式）を市長に提出しなければならない。
- 3 市長は、前項の免除願の提出があったときは、審査会の意見を聴いて、返還の免除について決定する。
- 4 返還免除の決定については、奨学金返還免除決定通知書（別記第14号様式）により、奨学生若しくは奨学生であった者又はその遺族、連帯保証人に通知する。

第17条を削る。

第16条第1項中「が死亡したときは、保証人（保護者）」を「又は奨学生であった者が奨学資金返還完了前に死亡したときは、連帯保証人」に改め、「及び誓約書・奨学資金借用証書」を削り、「死亡届」の次に「（別記第11号様式）」を加え、同条第2項を削り、同条を第20条とし、第15条を第19条とする。

第14条第1項中「（別記第8号様式）」を「（別記第9号様式）」に改め、同条第4項を削り、同条第3項中「第1項の」を削り、「猶予」の次に「の決定」を加え、「市長が決定する。」を「奨学金返還猶予決定通知書（別記第10号様式）により通知する。」に改め、同項を同条第4項とし、同条第2項の次に次の1項を加える。

- 3 市長は、第1項の猶予願の提出があったときは、審査会の意見を聴いて、返還の猶予について決定する。

第14条を第18条とし、第13条の次に次の4条を加える。

（債権管理）

第14条 奨学金の返還請求権の管理に関しては、奄美市債権管理条例（令和2

年3月30日奄美市条例第12号)の定めるところによる。

(期限の利益喪失)

第15条 奨学生であった者が正当な理由なく奨学金の返還を怠る等、債権保全上必要があると認めるときは、当該奨学金の返還に係る期限の利益を喪失させ、残額を一括して請求することができる。また、奨学生であった者が期限の利益を喪失したときは、民法(明治29年法律第89号)第458条の3に基づき、連帯保証人に対し通知しなければならない。

(連帯保証人に対する履行の請求の効力)

第16条 連帯保証人に対して履行の請求をしたときは、奨学生に対してもその履行の請求の効力が生じ、その時効の完成を猶予し、更新するものとする。

(連帯保証人に対する情報提供義務)

第17条 連帯保証人から当該連帯保証に係る奨学金の返還状況の情報提供について請求があった場合は、民法第458条の2に基づき、当該情報を提供しなければならない。

第13条を削る。

第12条第1項に次のただし書を加える。

ただし、次の各号の奨学金のうち、いずれか複数の貸与を受ける者又はその他特別の事由がある者については、その希望により、当該各号に定める返還期間を15年以内とすることができる。

第12条第1項第4号中「5年以内」を「7年以内」に改め、同条第2項を削り、同条を第13条とする。

第11条の見出し中「証書」の次に「等の提出」を加え、同条第1項中「誓約書・奨学資金借用証書(別記第6号様式)を、保護者を経て」を「次に掲げる書類を」に改め、同項に次の各号を加える。

(1) 誓約書・奨学金資金借用証書(別記第6号様式)

(2) 個人情報の調査及び利用に関する同意書(別記第7号様式及び第7号

様式の 2)

(3) 連帯保証人の印鑑登録証明書

(4) 連帯保証人（保護者以外の者）の所得・課税証明，住民票の写し（本籍記載）

第11条第2項中「（別記第7号様式）」を「（別記第8号様式）」に，「保護者」を「連帯保証人」に改め，同条第3項中「第9条」を「第10条」に改め，同条を第12条とし，第10条を第11条とし，第9条を第10条とする。

第8条中「奨学生」の次に「又は奨学生であった者」を加え，「在学学校長を経て市長に」を削り，「様式）を」の次に「速やかに市長に」を加え，同条第2号中「保証人（保護者）」を「連帯保証人」に改め，同条を第9条とし，第7条を第8条とし，第6条を第7条とし，第5条の次に次の1条を加える。

（連帯保証人）

第6条 連帯保証人は，次に掲げる2名とする。

(1) 保護者（親権者，未成年後見人，その他これらに準ずる者）

(2) 保護者以外の独立の生計を営む者で，奨学金の返還に関し保証能力のある者

2 奨学生又は奨学生であった者は，連帯保証人に変更があったときは，連帯保証人変更届（別記第3号様式）を速やかに市長に提出しなければならない。

附則第3項中「第6条」を「7条」に，「第17条」を「第13条及び第18条から第21条」に改める。

第1号様式中「

奨学生申請書 ※ (学 力)
(芸 術)
(スポーツ)

フリガナ		在 学 (出身校) 学 校 名		※ 昼・夜 (立)				
氏 名	男・女 年 月 日生 (歳)							
家族住所	〒 () 奄美市		電話 ()					
本人住所	〒 () ※自宅・下宿・寮・その他 ()							
生活保護世帯の場合		※世帯分離・同一世帯						
進学希望校 在学中の場合入 学年度・在学年 次を記入してく ださい。	第 1 希 望		第 2 希 望					
	(立)		(立)					
	部・科・業		部・科・業					
	入学年度	年度・在学年次	年・卒業予定	年度				
家族状況及び収入状況								
続 柄	氏 名	年 齢	同居 別居	年所得額	勤務先・在学学校名		現在受けて いる奨学金	
					国・公・私	学 校 名		
1 父							団体名	貸与 月額
2 母								円
3 本人								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
×受付番号			×決定番号					

(注) 1 ※印は、該当するものを○で囲むこと。

2 () 立の欄は、国立、県立、市立、私立の別を記入すること。

家族の生活状況及び奨学資金を必要とする理由（芸術・スポーツ部門で申請する理由）			
本人の履歴	年 月	立	中学校入学
	年 月	立	中学校卒業・見込み
	年 月	立	高等学校入学
	年 月	立	高等学校卒業・見込み
<p>貴市の奨学生として採用の上、奨学資金を貸し付けてくださるよう申請します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>奄美市長 殿</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">本人氏名 印</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">保証人（保護者）住所 印</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">氏名 印</p>			

」を「

第1号様式

奨学生申請書 ※ (学力・芸術・スポーツ)

フリガナ	-----				在 学		※	
氏 名	男・女			(出身校)	学 校 名		昼・夜 (立)	
	年 月 日	生 (歳)						
家族住所	〒 (-) 奄美市				電話			
本人住所	〒 (-)				※自宅・下宿・寮・その他 ()			
生活保護世帯の場合		※世帯分離・同一世帯		障がい手帳の有無		有 ・ 無		
進学希望校 在学中の場合入 学年度・在学年 次を記入してく ださい。	第 1 希 望			第 2 希 望				
	(立)			(立)				
	部・科			部・科				
	入学年度	年度・在学年次	年・卒業予定	年度				
家族状況及び収入状況								
続 柄	氏 名	年 齢	同居 別居	年所得額	勤務先・在学学校名		現在受けて いる奨学金	
					国・公私	学 校 名	団体名	貸与 月額
1 父								
2 母								円
3 本人								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
× 受付番号				× 決定番号				

(注) 1 ※印は、該当するものを○で囲むこと。

2 () 立の欄は、国立、県立、市立、私立の別を記入すること。

家族の生活状況及び奨学資金を必要とする理由（芸術・スポーツ部門で申請する理由）			
本人の履歴	年 月	立	中学校入学
	年 月	立	中学校卒業・見込み
	年 月	立	高等学校入学
	年 月	立	高等学校卒業・見込み
<p>宣市の奨学生として採用の上、奨学資金を貸し付けてくださるよう申請します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>奄美市長 殿</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">本人氏名 印</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">保護者等住所 (自署) 氏名 印</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">保護者等住所 (自署) 氏名 印</p>			

※本人が未成年者の場合には、保護者等（通常は父母。いずれかがいないときは一人）が下記に自署・押印してください。

」に改める。

第3号様式中「第2条」を「第6条」に改め、

同様式中「

収入等に関する証明書

年 月 日

奄美市長 殿

申請者 世帯主住所 _____
 世帯主氏名 _____ 印
 奨学生名 _____ 印
 在学学校名 _____ 第 _____ 学年

① 納税義務者氏名 (申請者記入)			② 年中の所得				配偶者 控除・ 扶養控 除した 人員数	県・市 民税の 税額
			総所得金額		山林・退職 所得			
続柄	氏名	職業	給 与 所 得 円	給 与 以 外 の 所 得 円	山 林 所 得 円	退 職 所 得 円	人	円
			円	円	山林 所得 円	退職 所得 円	人	円
			円	円	山林 所得 円	退職 所得 円	人	円
			円	円	山林 所得 円	退職 所得 円	人	円
			円	円	山林 所得 円	退職 所得 円	人	円
			円	円	山林 所得 円	退職 所得 円	人	円

上記のとおり、相違ないことを証明する。

年 月 日

市町村長 印

」を「

第3号様式

連帯保証人変更届

奄美市長 殿

奨学生本人(自署)	フリガナ		印	決定番号	第 号
	氏 名				
	住 所	〒 -			
電 話					

次のとおり、旧連帯保証人を新連帯保証人に変更しますので、新連帯保証人の印鑑登録証明書(原本)及び収入に関する証明書類を添付の上お届けします。 年 月 日

旧連帯保証人氏名		変更理由
新連帯保証人氏名		

私は、上記奨学生の債務につき、連帯保証します。

新連帯保証人(自署)	フリガナ		生年月日 年 月 日	
	氏 名		奨学生本人との続柄	
	住 所	〒 -		
	本 籍			
電 話		勤務先		

年 月 日

添付書類(新連帯保証人)

- 1 印鑑登録証明書
- 2 所得・課税証明書
- 3 個人情報の調査及び利用に関する同意書(第7号様式の2)

」に改める。

第4号様式中「第8条, 第13条」を「第9条」に改め,

同様式中「

異 動 届

奄美市長 殿 下記のとおり、異動がありましたのでお届けします。 年 月 日			
		在学 出身 学校名 決定番号 本人氏名 保証人 (保護者)	第 号 印 印
異 動 事 項		理 由	
(該当者・該当事項を○で囲むこと。) 本人 保証人(保護者) 連帯保証人 ・ 休学・退学・復学・転学・長欠 ・ 辞退・改姓・転居・転職・退職 ・ 資格喪失			
理由の発生 年 月 日	年 月 日	休学期 中 断	年 月 日から 年 月 日まで
転出校		転入校	
旧勤務先		新勤務先	
旧住所		新住所	
奨学金	貸付期間		貸付金額
	年 月から 年 月まで		円
上記のとおり、相違ありません。 年 月 日 学校長 氏 名 印			
転入学の場合 の記入事項	上記のとおり、年 月 日転入学を許可しました。 年 月 日 転入学校長 印		

(注) 1 該当者に○をして記入してください。

2 卒業した者は、学校長関係の記入はいりません。

」を「

第4号様式

異 動 届

奄美市長 殿 下記のとおり、異動がありましたのでお届けします。 年 月 日			
在学 出身	学 校 名 決 定 番 号	第 号	印 印 印
本 人 氏 名 連 帯 保 証 人 (保 護 者) 氏 名 連 帯 保 証 人 氏 名			
異 動 事 項		理 由	
(該当者・該当事項を○で囲むこと。)			
本人 連帯保証人(保護者) 連帯保証人			
・ 休 学 ・ 退 学 ・ 復 学 ・ 転 学 ・ 長 欠 ・ 辞 退 ・ 改 姓 ・ 転 居 ・ 転 職 ・ 退 職 ・ 資 格 喪 失			
理由の発生 年 月 日	年 月 日	休学 中 断 期	年 月 日 から 年 月 日 まで
転 出 校		転 入 校	
旧 氏 名		新 氏 名	
新 勤 務 先		電 話 番 号	
新 住 所	〒 -		
奨 学 金	貸 付 期 間		貸 付 金 額
	年 月 から 年 月 まで		円
上記のとおり、相違ありません。 年 月 日			
		学 校 長 氏 名	印
転入学の場合 の記入事項	上記のとおり、 年 月 日 転入学を許可しました。 年 月 日		
	転入学校長		印

(注) 1 該当者に○をして記入してください。

2 卒業した者は、学校長関係の記入はいりません。

」に改める。

第5号様式中「第10条」を「第11条」に改め、

同様式中「

奨学資金貸付復活願		
奄美市長 殿		
奨学資金の貸付けを復活して下さるよう、異動届（復学）を添えてお願いしま す。		
年 月 日		
本 人	住所	
	氏名	印
保 証 人 <small>（保護者）</small>	住所	
	氏名	印
学 校 長	氏名	印
1 決定番号	第 号	
2 学 校	学校 学年 科	
3 休学期間	年 月 日から 年 月 日まで	

」を「

第5号様式

奨学資金貸付復活願			
奄美市長		殿	
奨学資金の貸付けを復活して下さるよう、異動届（復学）を添えてお願いしま す。			
年 月 日			
本 人	住所		
	氏名	印	
連 帯 保 証 者 （ 保 護 者 ） 人	住所		
	氏名	印	
学 校 長	氏名	印	
1 決定番号	第	号	
2 学 校	学校	学年	科
3 休学期間	年	月	日から 日まで

」に改める。

第6号様式中「第11条関係、第16条」を「第12条」に改め、

同様式中「

誓約書・奨学資金借用証書

収入印紙

借用予定総額 一金

- 1 奄美市ふるさと創生人材育成基金条例及び同条例施行規則に基づき貸付けを受けた貴市奨学資金については、規定に従い私共連帯して、奨学資金返還計画書のとおり相違なく返還することを誓約し、後日のため本証書を提出します。
- 2 連帯保証人は、本証書から生じる一切の債務を、借用確定金額を極度額とし、奨学生と連帯して保証します。
- 3 借用確定金額については、借用金額が確定したとき、奄美市が記入する補充権を認めます。
- 4 万一奨学金の返還を怠った場合には、奄美市個人情報保護条例に定める実施期間相互における個人情報の共有に同意します。

年 月 日

本人	現住所		印
	氏名		
連帯保証人	現住所		印
	氏名		

上記奨学資金の返還については、規定に従い前記の誓約を実行させることを保証します。

(保護者)保証人	現住所		印
	氏名		

奄美市長 殿

借 用 内 容

借用月額	借用終了予定年月	借用確定金額 (記入不要)	適用
円	年 月	円	
円	年 月	円	
		合計	円

※1 収入印紙の添付は、下記によること。

- | | | |
|------|------------------|--------|
| 貸付金額 | 10万円以下 | 200円 |
| 貸付金額 | 10万円を超え 50万円以下 | 400円 |
| 貸付金額 | 50万円を超え 100万円以下 | 1,000円 |
| 貸付金額 | 100万円を超え 500万円以下 | 2,000円 |

※2 連帯保証人には、奨学生の2親等以内の者はなれないものとする。

」を「

誓約書・奨学資金借用証書

借用予定総額 一金

- 1 奄美市ふるさと創生人材育成基金条例及び同条例施行規則に基づき貸付けを受けた賞市奨学金については、規定に従い、後日提出する奨学資金返還計画書に相違なく返還することを誓約します。
- 2 連帯保証人は、本証書から生じる一切の債務を、奨学生と連帯して保証します。また、連帯保証人に対する履行の請求は、奨学生に対してもその効力を生ずるものとします。
- 3 借用確定金額については、借用金額が確定したとき、奄美市が記入する補充権を認めます。
- 4 万一奨学金の返還を怠った場合には、期限の利益（期限の到来までは債務の履行を請求されないという債務者の権利）を喪失し、残額について一括して請求を受けても異議はありません。

奄美市長 殿

年 月 日

本人	フリガナ 氏名		電話		印
	現住所	〒 -			
	本籍				
連帯保証人 (保護者)	フリガナ 氏名		続柄 電話		印 (実印)
	現住所	〒 -			
	本籍				
連帯保証人	フリガナ 氏名		続柄 電話		印 (実印)
	現住所	〒 -			
	本籍				

借 用 内 容

借用月額	借用終了予定年月	借用確定金額 (記入不要)	摘要
円	年 月	円	
円	年 月	円	
合 計		円	

添付書類

- 1 個人情報の調査及び利用に関する同意書（第7号様式）
- 2 連帯保証人の印鑑登録証明書
- 3 連帯保証人（保護者以外の者）の所得・課税証明書、住民票の写し（本籍記載）

」に改める。

第7号様式中「第11条」を「第12条」に改め、

同様式中「

奨学資金返還計画書（※印は、該当事項を○で囲む。）					
決定番号	第 号	学 校 名			
ふりがな氏 生年月日	----- 年 月 日生	貸付終 の理由	年 月 日 ※ 卒業, 終了, 停止, 退学, 中止, 転学, 辞退, 死亡		
返還総額	円	返還賦金 及び方法	※年 賦 半年賦 月 賦	円	円
返還期間	年	返 還 期	※毎年 月又は毎月 月		
本 人	本 籍 地				
	卒業（終了） 後の連絡先				
	就職先又は 進学予定校		予定月収		
保 証 人 (保護者)	ふりがな氏 生年月日	----- 年 月 日生	本人との 関 係		
	本 籍 地				
	現 住 所				電話
	職 業	(勤め先) 電 話 ()	(所在地)		
連 帯 保 証 人	ふりがな氏 生年月日	----- 年 月 日生	本人との 関 係		
	本 籍 地				
	現 住 所				電話
	職 業	(勤め先) 電 話 ()	(所在地)		

」を「

個人情報の調査及び利用に関する同意書
(奨学生本人)

奄美市長 殿

※自署住所

氏名 ①

電話番号

(生年月日 昭和・平成 年 月 日)

私は、奄美市が次の事項について、情報を保有する所管課並びに関係諸機関への調査及び情報提供を受け、その債務の回収に必要な範囲で利用することに同意します。

※ただし、滞納がない場合は行いません。正当な理由もなく奨学資金の返還が滞った場合、奄美市が調査及び関係諸機関からの情報提供を受けることに同意をいただくものです。

1 奄美市が保有する個人情報

- ・奄美市が保有する私に対する債権について、滞納の有無及び滞納の内容と金額
- ・勤務先の名称及び住所（特別徴収義務者の名称及び住所）
- ・預貯金口座のある金融機関名及び支店名
- ・市民税・県民税に関する情報（収入及び所得の種類並びに金額、収入に係る支払者の名称及び住所、所得控除の種類及び控除額、生命保険の控除の対象となった保険料の支払い先の名称、住所等）
- ・固定資産税に関する情報（固定資産税台帳に登録された土地及び家屋の所在地、価格、所有状況等）
- ・生活保護受給の有無
- ・その他、必要な調査

2 奄美市が保有しない個人情報

- ・奄美市が、公的機関が保有する連絡先、住所等に関する情報提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、金融機関から取引口座の有無及び取引状況の提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、保険会社から加入状況及び保険契約内容の情報の提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、私の勤務先又は受注先から、私が有する給料債権、報酬債権、売掛金債権に関する情報の提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、公的年金機関から公的年金の情報の提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、私と賃貸契約を締結した貸主、賃貸物件を管理している不動産管理会社、賃貸物件を紹介した不動産仲介業者から私の連絡先、転居先等の情報を受けることに同意します。
- ・奄美市が、電気通信業者（電話会社、インターネット会社等）から、領収書、利用明細書の送付先住所及び利用料金を自動振替する金融機関の名称、支店名の情報の提供を受けることに同意します。

」に改め、

同様式の次に次の1様式を加える。

第7号様式の2（第12条関係）

第7号様式の2

年 月 日

個人情報の調査及び利用に関する同意書
(連帯保証人)

奄美市長 殿

※自署住所

氏名 ⑧

電話番号

(生年月日 昭和・平成 年 月 日)

私は、奄美市が次の事項について、情報を保有する所管課並びに関係諸機関への調査及び情報提供を受け、その債務の回収に必要な範囲で利用することに同意します。

※ただし、滞納がない場合は行いません。正当な理由もなく奨学生（氏名 ）の奨学資金の返還が滞った場合、奄美市が調査及び関係諸機関からの情報提供を受けることに同意をいただくものです。

1 奄美市が保有する個人情報

- ・奄美市が保有する私に対する債権について、滞納の有無及び滞納の内容と金額
- ・勤務先の名称及び住所（特別徴収義務者の名称及び住所）
- ・預貯金口座のある金融機関名及び支店名
- ・市民税・県民税に関する情報（収入及び所得の種類並びに金額、収入に係る支払者の名称及び住所、所得控除の種類及び控除額、生命保険の控除の対象となった保険料の支払い先の名称、住所等）
- ・固定資産税に関する情報（固定資産税台帳に登録された土地及び家屋の所在地、価格、所有状況等）
- ・生活保護受給の有無
- ・その他、必要な調査

2 奄美市が保有しない個人情報

- ・奄美市が、公的機関が保有する連絡先、住所等に関する情報提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、金融機関から取引口座の有無及び取引状況の提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、保険会社から加入状況及び保険契約内容の情報の提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、私の勤務先又は受注先から、私が有する給料債権、報酬債権、売掛金債権に関する情報の提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、公的年金機関から公的年金の情報の提供を受けることに同意します。
- ・奄美市が、私と賃貸契約を締結した貸主、賃貸物件を管理している不動産管理会社、賃貸物件を紹介した不動産仲介業者から私の連絡先、転居先等の情報を受けることに同意します。
- ・奄美市が、電気通信業者（電話会社、インターネット会社等）から、領収書、利用明細書の送付先住所及び利用料金を自動振替する金融機関の名称、支店名の情報の提供を受けることに同意します。

第8号様式中「第14条」を「第12条」に改め、

同様式中「

奨学資金返還猶予願

奄美市長 殿

私は、次の理由により、奨学資金返還を猶予くださるようお願いいたします。

年 月 日

本人	住所	
	氏名	印
保証人 (保護者)	住所	
	氏名	印
連保証人	住所	
	氏名	印

1 決定番号 第 号

2 出身学校名

3 猶予希望期間 年 月 日から
年 月 日まで

4 理由

5 添付した資料名

添付資料は、進学の場合……………在学証明書

病気の場合……………医師の診断書

」を「

第8号様式

奨学資金返還計画書（※印は、該当事項を○で囲む。）					
決定番号	第 号	学 校 名			
ふりがな 氏名 生年月日	----- 年 月 日生	貸付終 止の理由	年 月 日 ※ 卒業, 終了, 停止, 退学, 中止, 転学, 辞退, 死亡		
返還総額	円	返還賦金 及び方法	※年賦 半年賦 月賦	円	円
返還期間	年	返 還 期	※毎年 月又は毎月 月		
本 人	本 籍 地				
	卒業（終了） 後の連絡先				
	就職先又は 進学予定校		予定月収		
連 帯 保 証 人 （ 保 護 者）	ふりがな 氏名 生年月日	----- 年 月 日生	本人との 関 係		
	本 籍 地				
	現 住 所				電話
	職 業	(勤め先) 電 話 ()	(所在地)		
連 帯 保 証 人	ふりがな 氏名 生年月日	----- 年 月 日生	本人との 関 係		
	本 籍 地				
	現 住 所				電話
	職 業	(勤め先) 電 話 ()	(所在地)		

※本人, 連帯保証人(保護者), 連帯保証人各自が署名

」に改める。

第9号様式中「第16条」を「第18条」に改め,

同様式中「

死 亡 届

奄美市長 殿

次のとおり、死亡しましたので戸籍抄本を添えてお届けします。

年 月 日

※保 連 遺	証 者 証 (保 護 保 証)	人 人 族	住所	
			氏名	印

1 死亡者名 現在奨学生
奨学生であった者 _____

2 ※在学出身 学校名

3 決定番号 第 号

4 死 因

5 添付した書類 ※戸籍抄本 奨学資金借用証書

(注) 1 ※印は、該当のものに○を付してください。

2 現在奨学生である者が死亡した場合は、奨学資金借用証書を添付してください。

」を「

奨学資金返還猶予願

奄美市長 殿

私は、次の理由により、奨学資金返還を猶予くださるようお願いいたします。

年 月 日

※自署

本人	住所	
	氏名	印
連帯保証人 (保護者)	住所	
	氏名	印
連帯保証人	住所	
	氏名	印

1 決定番号 第 号

2 出身学校名

3 猶予希望期間 年 月 日から
年 月 日まで

4 理由

5 添付した資料名

添付資料は、進学の場合………在学証明書

病気の場合………医師の診断書

」に改める。

第10号様式中「第17条」を「第18条」に改め、

同様式中「

奨学資金返還免除願			
奄美市長 殿			
次の理由により、奨学資金の返還を免除して下さるよう、お願いします。			
年 月 日			
		住 所 本 人 氏 名	印
		住 所 保証人 (保護者) 氏 名	印
奨学生の ふりがな 氏 名		決 定 番 号	第 号
		出 身 学 校 名	科
貸付総額	円	貸 付 期 間	年 月から 年 月まで
返還済額	円	返 還 済 期 間	年 月分から 年 月分まで
免 除 希 望 額	円	理 由	
添付書類			

(注) 1 奄美市ふるさと創生人材育成基金条例施行規則第17条の要件を証する書類を添付すること。

2 本人死亡の場合、本人の欄は、氏名だけ記入すること。

」を「

第10号様式

第 号
年 月 日

(学校等名)
(本人氏名) 様

奄美市長



奨学金返還猶予決定通知書

下記のとおり奨学金の返還の猶予について決定したので通知します。

記

1 決定内容 承認 不承認

2 猶予期間 年 月から 年 月まで

」に改める。

第11号様式中「第17条」を「第20条」に改め、

同様式中「

家 庭 状 況 書

奄美市長 殿

次のとおり、相違ありません。

年 月 日

奨 学 生	決 定 号	第 号
	氏 名	
	学 校	学校 卒業 科 (年中退)

1 家族構成

2 資産状況

3 生活状況

※本人・遺族 連帯保証人 保証人	住 所	
	氏 名	

(注) 1 ※印は、該当のものに○を付してください。

2 資産状況の欄は、資産証明書があれば要りません。

」を「

第11号様式

死 亡 届		
奄美市長 殿		
次のとおり、死亡しましたので戸籍抄本を添えてお届けします。		
年 月 日		
※ 連帯保証人(保護者) 連 帯 保 証 人 遺 族	住所	
	氏名	印
1 死亡者名 現在奨学生 奨学生であった者 _____		
2 ※ 在学出身 学校名		
3 決定番号 第 号		
4 死 因		
5 添付した書類 ※戸籍抄本		

(注) 1 ※印は、該当のものに○を付してください。

」に改め、

同様式の次に次の3様式を加える。

第12号様式（第21条関係）

第12号様式

家 庭 状 況 書		
奄美市長 殿		
次のとおり、相違ありません。		
年 月 日		
奨 学 生	決 定 号 番 号	第 号
	氏 名	
	学 校	学校 科 (年卒業・中退)
1 家族構成		
2 資産状況		
3 生活状況		
※本人 (保護者・ 遺族) 連帯保証人 連帯保証人	住 所	
	氏 名	

(注) 1 ※印は、該当のものに○を付してください。

2 資産状況の欄は、資産証明書があれば要りません。

第13号様式（第21条関係）

第13号様式

奨学資金返還免除願			
奄美市長 殿			
次の理由により、奨学資金の返還を免除して下さるよう、お願いします。			
年 月 日			
本 人 住 所		印	
氏 名			
連帯保証人(保護者) 住 所		印	
氏 名			
連 帯 保 証 人 住 所		印	
氏 名			

奨学生の ふりがな 氏 名	-----	決 定 番 号	第 号
		出 身 学 校 名	科
貸付総額	円	貸 付 期 間	年 月から 年 月まで
返還済額	円	返 還 済 期 間	年 月分から 年 月分まで
免 除 希 望 額	円	理 由	
添付書類			

- (注) 1 奄美市ふるさと創生人材育成基金条例施行規則第17条の要件を証する書類を添付すること。
 2 本人死亡の場合、本人の欄は、氏名だけ記入すること。
 3 本人、連帯保証人（保護者）、連帯保証人各自が署名すること。

第14号様式（第21条関係）

第14号様式

第 年 月 日
号

遺族等
保護者
(連帯保証人) 様
様

奄美市長

印

奨学金返還免除決定通知書

下記のとおり奨学金の返還の免除について決定したので通知します。

記

- 1 決定内容 承認 不承認

- 2 奨学生
 氏 名
 決定番号

- 3 貸付総額 円

- 4 返還済額 円

- 5 未返還額 円

- 6 免除申請額 円

- 7 免除決定額 円

附 則

この規則は、令和〇〇年〇〇月〇〇日から施行する。

報告第15号

奄美市名瀬運動公園，奄美市名瀬総合体育館及び奄美市名瀬古見方多目的広場の指定管理者の指定について

奄美市名瀬運動公園，奄美市名瀬総合体育館及び奄美市名瀬古見方多目的広場の指定管理者を指定することについて，地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第6項の規定により，議会の議決を求めましたので教育委員会に報告します。

令和3年12月20日提出

奄美市教育委員会教育長 村田 達治

1 公の施設の所在及び名称

(1) 奄美市名瀬大字小宿

奄美市名瀬運動公園

(2) 奄美市名瀬大字小宿字砂田

奄美市名瀬総合体育館

(3) 奄美市名瀬大字朝戸235番地

奄美市名瀬古見方多目的広場

2 指定管理者となる団体の所在地及び名称

奄美市名瀬長浜町517番地

一般財団法人 奄美市開発公社

理事長 安 田 壮 平

3 指定の期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

報告第16号

太陽が丘総合運動公園，奄美市笠利 B & G 海洋センター及び奄美市笠利農村環境改善センターの指定管理者の指定について

太陽が丘総合運動公園，奄美市笠利 B & G 海洋センター及び奄美市笠利農村環境改善センターの指定管理者を指定することについて，地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第6項の規定により，議会の議決を求めましたので教育委員会に報告します。

令和3年12月20日提出

奄美市教育委員会教育長 村田 達治

1 公の施設の所在地及び名称

(1) 奄美市笠利町大字万屋1148番地1及び大字万屋1164番地1

太陽が丘総合運動公園

(2) 奄美市笠利町大字万屋1148番地1

奄美市笠利 B & G 海洋センター

(3) 奄美市笠利町大字万屋1515番地1

奄美市笠利農村環境改善センター

2 指定管理者となる団体の所在地及び名称

奄美市名瀬長浜町517番地

一般財団法人 奄美市開発公社

理事長 安田 壮平

3 指定の期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

報告第17号

奄美市教育，文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

奄美市教育，文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付要綱（平成26年11月26日教育委員会告示第10号）の一部を次のように改正したので，奄美市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18年3月20日教育委員会規則第1号）第22条第2項の規定により，教育委員会に報告し，承認を求める。

令和3年12月20日提出

奄美市教育委員会教育長 村田 達治

奄美市教育，文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付要綱の一部を改正する要綱

奄美市教育，文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付要綱（平成26年奄美市教育委員会告示第10号）の一部を次のように改正する。

第3条及び第4条を次のように改める。

（補助金の対象経費）

第3条 補助金の対象経費は，次に掲げるとおりとする。

- （1） 旅費 各種大会へ参加する交通費及び宿泊費
- （2） 運搬費 各種大会参加に必要な道具等の運搬費（個人出場を除く。）

（補助金の額）

第4条 補助金の額は，次に掲げるとおりとする。

(1) 旅費 2分の1の額とする。ただし、九州大会は1人当たり2万円、
全国大会は1人当たり4万円を上限額とする。

(2) 運搬費 2分の1の額とする。ただし、10万円以上の運搬費に限るものとする。

2 前項の規定にかかわらず全国大会で最も上位の成績を収めた場合は、旅費及び運搬費の全額を補助する。

別記第1号様式から別記第3号様式を次のように改める。

別記

第1号様式（第5条関係）

年 月 日

奄美市長 殿

申請者 住所
氏名 印

奄美市教育、文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付申請書

年度における奄美市教育、文化及び芸術の各種大会参加費補助金の交付を受けたいので、奄美市教育、文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付要綱第5条の規定により、申請します。

記

- 1 大会名
- 2 期 日
- 3 場 所
- 4 旅費（交通費及び宿泊費）
- 5 運搬費

第2号様式（第6条関係）

第 号
年 月 日

様

奄美市長

印

奄美市教育，文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付決定通知書

年 月 日付けで申請のあった 年度奄美市教育，文化及び
芸術の各種大会参加費補助金の交付については，下記のとおり交付決定しまし
たので通知します。

記

- 1 大会名

- 2 旅費（交通費及び宿泊費）及び運搬費
旅費（交通費及び宿泊費） 円
運搬費 円

- 3 補助金の交付決定額 円

- 4 交付決定に付した条件

第3号様式（第7条関係）

年 月 日

奄美市長 殿

対象者 住所

氏名

（保護者） 印

奄美市教育、文化及び芸術の各種大会参加費補助金実績報告書

年度における奄美市教育、文化及び芸術の各種大会参加費補助金の交付を受けたいので、奄美市教育、文化及び芸術の各種大会参加費補助金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添付して報告します。

記

- 1 大会名
- 2 期 日 年 月 日から 年 月 日まで
- 3 場 所
- 4 旅費（交通費及び宿泊費） 総額 円
- 5 運搬費 総額 円
- 6 添付資料 交通費及び宿泊費並びに運搬費の領収書

附 則

この要綱は、令和3年10月1日から施行する。